

UM工程進捗

リリースノート

ver.1.19-21

発行日	2022/05/31
最終改訂日	2022/07/06

株式会社シナプスイノベーション

© Synapse Innovation Inc.

Confidential

改訂履歴

改訂日	改訂内容
2022/05/31	発行
2022/06/22	詳細に「マイナス在庫不許対応」を追加 不具合修正に6件追加
2022/06/27	アップグレード手順 ②Label ver.1.15.0のパッケージURLを修正
2022/07/06	詳細に「負荷値の計算機能追加」を追加

- 本書の一部または全部を無断で複製・転載することはお断りします。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本製品をご利用いただいた結果の影響につきましては上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容はUM工程進捗 ver.1.21 時点のものです。

目次

改訂履歴	1
目次	2
Ver.1.19	3
概要	3
詳細	4
部品表機能追加	4
汎用項目の追加	4
Chatterで処理結果を確認機能追加	4
製造オーダーステータス自動変更設定を追加	4
生産計画からの受注引当機能修正	4
管理オーダーにデフォルトリソースを追加	4
支給実績一覧入力の検索上限数設定機能	5
実績入力から編集機能追加	5
論理削除機能追加	5
所要量計算、工程展開に使用する項目の追加	5
中国語対応	6
マイナス在庫不許可対応	6
負荷値の計算機能追加	6
不具合修正	6
アップグレード手順	8
UM工程進捗用設定	11
カスタムメタデータ型項目の追加削除によるレイアウト編集	11
レポートタイプの追加	13
ページレイアウトの項目配置変更	15
ページレイアウトの関連リスト追加	19
ページレイアウトの関連リストの新規ボタン設定変更	21
ボタンの設定変更	23
アクションの設定変更	25
リストビューの変更	30
スキーマアップグレード設定資料の設定	32

1. Ver.1.19

1.1. 概要

本バージョンにおいて、主に下記の追加変更を実施いたしました。

- 部品表機能追加
- 汎用項目の追加
- Chatterで処理結果を確認機能追加
- 製造オーダーステータス自動変更設定を追加
- 生産計画からの受注引当機能修正
- 管理オーダーにデフォルトリソースを追加
- 実績入力から編集機能追加
- 論理削除機能追加
- 所要量計算、工程展開に使用する項目の追加
- 中国語対応
- マイナス在庫不許可対応
- 不具合修正

各変更内容につきましては、次ページ [詳細] よりご確認ください。

アップグレード後の

各変更による設定の追加等につきましては、[UM工程進捗用設定]よりご確認ください。

1.2. 詳細

1.2.1. 部品表機能追加

これまで参照のみだった部品表機能にて編集やコピーが可能になりました。

1.2.2. 汎用項目の追加

下記の機能を対象に、任意の項目が追加可能になりました。

- ・工場入庫
- ・工場出庫
- ・在庫調整
- ・製造オーダー
- ・子品目所要量
- ・子品目消費実績

汎用項目の追加方法は「システム管理者：UM工程進捗 ユーザーガイド」の「汎用項目の追加【任意】」をご参照ください。

1.2.3. Chatterで処理結果を確認機能追加

所要量計算、工程展開の処理結果を確認することができるようになりました。
また、ナビゲーションバーにChatterタブを追加しました。

1.2.4. 製造オーダーステータス自動変更設定を追加

製造実績の実績数が製造オーダーのオーダー数量以上になった場合に、
製造オーダーを製造完了に自動変更するようになりました。

1.2.5. 生産計画からの受注引当機能修正

生産計画から受注引当（受注生産を作成する機能）を修正しました。
引当する受注・受注明細が検索しやすくなりました。

1.2.6. 管理オーダーにデフォルトリソースを追加

製造に関わらない管理オーダーを作成する際、管理項目マスタのデフォルトリソースを
設定出来る様になりました。

1.2.7. 支給実績一覧入力の検索上限数設定機能

支給実績一覧入力にて
検索結果の上限数を設定できるようになりました。
また、警告メッセージを表示する件数も設定できるようになりました。

使用手順は、「UM工程進捗：システム管理者ユーザーガイド」の
「支給実績一覧入力の検索上限数を変更する【任意】」をご参照ください。

1.2.8. 実績入力から編集機能追加

実績入力画面から下記情報を編集できるようになりました。

- ・子品目消費実績編集
- ・作業実績編集

1.2.9. 論理削除機能追加

下記オブジェクトに削除フラグを作成し、物理削除しなくても削除済みデータとして扱うことができるようになりました。

対象オブジェクト

- ・品目マスタ
- ・構成ヘッダマスタ
- ・構成明細マスタ
- ・工程手配ヘッダマスタ
- ・工程手配明細マスタ

1.2.10. 所要量計算、工程展開に使用する項目の追加

構成明細マスタに有効開始日・有効終了日を追加しました。
所要量計算、工程展開にて基準日が有効期間内の構成明細を対象となります。

構成明細マスタに下記項目を追加しました。

- ・有効開始日
- ・有効終了日

生産計画、製造オーダーに下記項目を追加しました。

- ・基準日

1.2.11. 中国語対応

中国語（簡体字）に対応しました。
下記の手順で言語を切り替えることが可能です。

<手順>

- ①右上のアイコンをクリックし、設定をクリック
- ②言語とタイムゾーンをクリック
- ③ご利用になる言語を選択 ※タイムゾーンなどその他の項目の変更は任意です。

※事前にご利用になる言語の有効化が必要です。
設定> 翻訳言語設定から設定が可能です。

1.2.12. マイナス在庫不許可対応

ロット管理する品目について、データーローダー等の外部からデータを操作した場合でも在庫数をマイナス値にする更新を許可しない様にチェックする様にしました。

1.2.13. 負荷値の計算機能追加

工程リソースマスタに負荷値関連項目を設定することで、所要量計算・工程展開時に各リソースの負荷値を計算できるようになりました。

1.2.14. 不具合修正

下記機能で不具合修正を実施いたしました。

- 所要量計算
工程外注の購買オーダーの納期は作業オーダーの納期と一致すべきところ、前工程の納期になっていました。
- 所要量計算
工程外注の購買オーダー、入荷対象フラグをOnで作成していた為に入荷したとき、在庫が作成されていました。工程外注の購買オーダーは入荷対象フラグをOffで作成して在庫が作成されない様にしました。
- 所要量計算
中間品の製造オーダーの入庫場所が全て生産計画の入庫場所に設定されていました。中間品の製造オーダーの入庫場所は工程手配明細マスタの入庫場所を設定する様にしました。
- 実績入力
製造実績は作成され在庫数量も増減しますが、製造オーダーの実績数量の値が反映されず0のままで「製造完了」になりませんでした。
製造オーダーの実績数量及びステータスを更新する様にしました。

- 実績入力
在庫締処理済の日付でも子品目消費や作業実績の保存が出来てしまいました。
在庫締処理済の日付は保存出来ない様にしました。
- 在庫推移シミュレーション
購買オーダーの数量は受入数量に含まれていました。購買オーダーの数量は
受入数量に含めない様にしました(発注明細の数量を受入数量に含めています)。
- 所要量計算
端数処理を行っていなかった為、作業オーダーの数量に小数点以下5桁以上の
値が発生しました。小数点第5位を切り上げしました。
- 製造実績
複数件更新したとき、アプリケーションエラーが発生しました。
- 部品表
品目・構成詳細に項目「工程順序」を追加しました。
- ロット検索
ロット検索の検索結果が一画面に収まらないときでもスクロールバーを
表示出来ていませんでした。

2. アップグレード手順

パッケージURL :

①Schema ver.1.24.0

「スキーマアップグレード設定資料 ver.1.24」に記載しています。

②Label ver.1.15.0

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x0000048KX9AAM>

③Utility ver.1.8.0

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004RlrVAAS>

④Domain ver.1.26.0

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x0000048KXsAAM>

⑤Service ver.1.2.0

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x000004C1jnAAC>

⑥工程進捗 ver.1.21.2

<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t2x0000048KguAAE>

<手順>

1) スキーマのアップグレードと設定を実施します。

「スキーマアップグレード設定資料」を参考に、スキーマのアップグレードを行ってください。

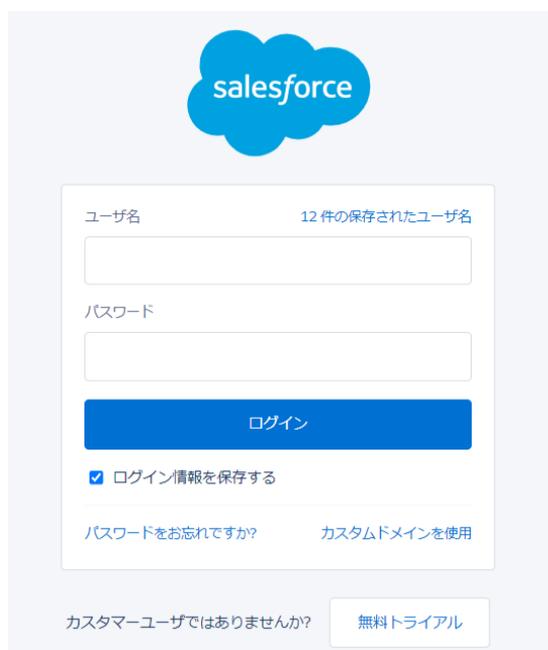
※必ずパッケージURL②～⑥の前に行ってください。

2) 上記パッケージURL②～⑥にアクセスします。

※パッケージURL②から順番にアップグレードを行ってください。

※パッケージごとに、手順 2)～ 5)のアップグレード作業を繰り返し行ってください。

3) ログイン画面が表示されます。アップグレードする環境のユーザでログインしてください。



The image shows the Salesforce login interface. At the top is the Salesforce logo. Below it is a login form with the following elements:

- User name field: ユーザ名 (12件の保存されたユーザ名)
- Password field: パスワード
- Login button: ログイン
- Remember me checkbox: ログイン情報を保存する
- Links: パスワードをお忘れですか? (forgot password) and カスタムドメインを使用 (use custom domain)
- Footer: カスタマーユーザではありませんか? (not a customer user?) and 無料トライアル (free trial)

4) アップグレード実行画面が表示されます。

※アップグレード実行前に、今回アップグレードを行うバージョンになっているか、**必ずバージョン名を確認してください。**

<実行手順>

- 「管理者のみのインストール」をクリックします。
- 下図のように「同意」チェックボックスがある場合はチェックします。
- 「アップグレード」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the upgrade interface for the application 'snps_um_schema' by Synapse Innovation Inc. It includes a message about existing installations, three installation options (Admin Only, All Users, Specific Profiles), a warning about AppExchange distribution, a consent checkbox, and an 'Upgrade' button. A table at the bottom lists application details, with the version name 'ver 1.0.0' highlighted.

アップグレード snps_um_schema
コメント作成者 Synapse Innovation Inc.

i 以前のバージョンがインストールされています。既存のデータを保持したままアップグレードできます。
インストール済み: ver 1.0.0 (1.0) 新しいバージョン: ver 1.0.0 (1.0)

管理者のみのインストール
 すべてのユーザのインストール
 特定のプロファイルのインストール...

! Salesforce の AppExchange パートナープログラムの一環として配布できない Salesforce 以外のアプリケーションをインストールします。

Salesforce の AppExchange パートナープログラムの一環として配布できない Salesforce 以外のアプリケーションをインストールすることに同意します。

アップグレード キャンセル

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
snps_um_schema	Synapse Innovation Inc.	ver 1.0.0	1.0

その他の詳細 [コンポーネントを表示](#)

- d) アップグレード完了後、画面に「アップグレードが完了しました」のメッセージが表示されます。「完了」ボタンをクリックします。
下図のような画面が表示された場合は、完了メールを確認後に「完了」ボタンをクリックします。

アプリケーション名	公開者	バージョン名	バージョン番号
snps_um_schema	Synapse Innovation Inc.	ver.1.15.0	1.15

- 5) 「インストール済みパッケージ」画面が表示されます。
インストールしたパッケージ名のバージョン番号を確認してください。
アップグレードを行ったバージョンになっていればアップグレード完了です。
※パッケージごとに手順 1)~ 4)のアップグレード作業を繰り返し行ってください。

アクション	パッケージ名	公開者	バージョン番号	名前空間プレフィックス	インストール日	制限	アプリケーション	タブ	オブジェクト	AppExchange 準備完了
アンインストール	snps_um.label	Synapse Innovation Inc.	1.3	snps_um	2022/08/08 18:52	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	LMPProductionManagement	Synapse Innovation Inc.	1.13	snps_um	2022/08/08 19:06	✓	2	2	0	合格
アンインストール	snps_um.domain	Synapse Innovation Inc.	1.14.1	snps_um	2022/08/08 18:56	✓	0	5	1	不合格
アンインストール	snps_um.schema	Synapse Innovation Inc.	1.15	snps_um	2022/08/08 18:46	✓	0	73	129	不合格
アンインストール	snps_um.service	Synapse Innovation Inc.	1.2	snps_um	2022/08/08 18:57	✓	0	0	0	不合格
アンインストール	snps_um.utility	Synapse Innovation Inc.	1.6	snps_um	2022/08/08 18:53	✓	0	0	0	合格

3. UM工程進捗用設定

UM工程進捗の変更内容をご利用のために、一部設定をしていただく必要があります。
ご利用環境のverや設定状況によっては設定不要の内容もございます。あらかじめご了承ください。

3.1. カスタムメタデータ型項目の追加削除によるレイアウト編集

下記表のカスタムメタデータ型項目の追加削除に伴い、レイアウトの編集を行います。
設定することで、追加項目が使用できるようになり、削除項目が使用できなくなります。

カスタムメタデータ型 表示ラベル	ページレイアウト	追加／削除	項目
システム制御	System Control レイアウト	追加	完成品在庫設定 (Completed product inventory setting)
			管理オーダー展開日数 (Number of days to deploy control order)
UMドメイン設定	UMドメイン設定 レイアウト	追加	支給実績一覧入力最大件数
			支給実績一覧入力警告件数

<手順> (例) システム制御

- 1) 設定メニューより、設定 > カスタムメタデータ型をクリックします。
※ クイック検索 ボックスに「カスタムメタデータ型」を入力すると簡単に見つけられます
- 2) 「該当の表示ラベル」をクリックします。

設定 ホーム オブジェクトマネージャ

Q カスタムメタデータ型

カスタムメタデータ型

すべてのカスタムメタデータ型

カスタムメタデータ型では、レコードがデータではなくメタデータになる独自の設定オブジェクトを作成できます。通常、これは環境間での移行、パッケージ化、およびインストールが必要なアプリケーション設定を定義するために使用されます。カスタムオブジェクトまたはカスタム設定でレコードからアプリケーションを作成する代わりに、カスタムメタデータ型を作成して、メタデータレコードを追加できます。この方法では、メタデータのすべての管理可能性（リソース、リリース、アップグレード）が確保されます。カスタムメタデータレコードをクリエイトしても、SOQL 制限にカウントされません。

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	名前空間プレフィックス	表示	API 参照名	レコードサイズ	説明
レコードの管理	Batch Execution Result Destination		snps_um	公開	snps_um_BatchExecutionResultDestination_mdt	251	
レコードの管理	Certification		snps_um	公開	snps_um_Certification_mdt	906	
レコードの管理	HTTP Request Settings		snps_um	公開	snps_um_HTTPRequestSettings_mdt	1476	
レコードの管理	JVM Connect Settings		snps_um	公開	snps_um_JVMConnectSettings_mdt	456	
レコードの管理	SObject Event Trace Availability		snps_um	公開	snps_um_SObjectEventTraceAvailability_mdt	161	
レコードの管理	SObject Stool Control Availability		snps_um	公開	snps_um_SObjectStoolControlAvailability_mdt	161	
レコードの管理	UM 設定		um_garnt	公開	um_garnt_UMGarntSetting_mdt	151	
レコードの管理	UM 入力設定		snps_um	公開	snps_um_UMInputSetting_mdt	151	
レコードの管理	UM 設定		snps_um	公開	snps_um_UMDomainSetting_mdt	475	
レコードの管理	UM 工程バッチ処理最大件数		snps_um	公開	snps_um_MaxNumberBatchProcessesSetting_mdt	144	
レコードの管理	UM 工程維持設定		snps_um	公開	snps_um_UMProcessSetting_mdt	850	
レコードの管理	システム制御		snps_um	公開	snps_um_SystemControl_mdt	215	システム制御用メタデータ
レコードの管理	品目マスタ Name 品番自動設定		snps_um	公開	snps_um_ItemNameAutoSetting_mdt	181	

- 3) 該当のカスタムメタデータ型の詳細ページが表示されます。ページレイアウトセクションの該当ページレイアウトのアクション「編集」リンクをクリックします。

設定 カスタムメタデータ型

カスタムコード カスタムメタデータ型

探しているものが見つかりませんか？
グローバル検索をお試しください。

アクション	項目の表示ラベル	API 名称	インストール済みパッケージ	データ型	項目管理可能性	インデックス付き	制御項目	更新者
編集	Account Trans Flg	snps_um_AccountTransFlg_c		チェックボックス	登録者が編集可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/03/08 12:37
編集	ARBalanceCalculated	snps_um_ARBalanceCalculated_c		チェックボックス	登録者が編集可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/27 11:10
編集	Completed product inventory setting	snps_um_CompletedProductInventorySetting_c		選択リスト	登録者が編集可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/19 17:31
編集	Number of days to deploy control order	snps_um_NumOfDaysDeployControllingOrder_c		数値(4, 0)	アップグレード可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/27 11:10
編集	Stock Allocate Flg	snps_um_StockAllocateFlg_c		チェックボックス	登録者が編集可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/03/08 12:37
編集	UMWMS Flg	snps_um_UMWMSFlg_c		チェックボックス	登録者が編集可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/03/08 12:37
編集	廃止	snps_um_AccountTransFlg_c		チェックボックス	アップグレード可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/27 11:10
編集	廃止	snps_um_UMWMSFlg_c		チェックボックス	アップグレード可能			工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/27 11:10

削除済み項目(0)

入力規則

ページレイアウト

アクション	ページレイアウト名	インストール済みパッケージ	作成者	更新者
編集	System Controlレイアウト		工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/02/22 15:16	工程進捗テスト管理ユーザー, 2022/05/27 11:44

- 4) ページレイアウト個別のページが表示されます。項目をドラッグ&ドロップで任意の場所に配置します。
- 5) 「保存」ボタンをクリックします。
※System Controlレイアウトの配置例

設定 カスタムメタデータ型

カスタムコード カスタムメタデータ型

探しているものが見つかりませんか？
グローバル検索をお試しください。

保存 適用 キャンセル

レイアウトのプロパティ

項目

クイック検索 項目名

項目	セクション	プロパティ	値
Completed product...	カスタムメタデータレコード	廃止	表示ラベル
Number of days to...	最終更新者	表示ラベル	名前 snps.um.UMWMS.Flg
Account Trans Flg	作成者	保護	種類 チェックボックス
Stock Allocate Flg	廃止	名前空間プレフィックス	

情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

- 表示ラベル サンプルテキスト
- カスタムメタデータレコード名 サンプルテキスト
 - UMWMS Flg ✓
 - Account Trans Flg ✓
 - Stock Allocate Flg ✓
- Completed product inventory setting サンプルテキスト
- Number of days to deploy control order 516
- ARBalanceCalculated ✓

システム情報 (編集ページにのみヘッダーを表示)

作成者 サンプルテキスト

最終更新者 サンプルテキスト

カスタムリンク (ヘッダーを表示しない)

3.2. レポートタイプの追加

下記表のオブジェクトに対してレポートタイプで選択できるように設定します。

オブジェクト
構成ヘッダマスタ
製番採番管理
製番採番定義マスタ

<手順> (例) 構成ヘッダマスタ

- 1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。

表示ラベル	API 参照名	種別	説明	最終更新
構成ヘッダマスタ	snps_um_CompositionPattern_c	カスタムオブジェクト		2022/04/26

- 2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。詳細ページの「編集」ボタンをクリックします。

3) カスタムオブジェクトの編集ページが表示されます。追加の機能セクションの「レポートを許可」チェックボックスをONにし、「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the Salesforce configuration page for a custom object named 'Composition Pattern Mas1'. The page is titled '構成ヘッダマスタ' (Header Master) and is part of the 'オブジェクトマネージャ' (Object Manager) settings. The left sidebar contains a navigation menu with options like '詳細' (Details), '項目とリレーション' (Fields and Relationships), 'ページレイアウト' (Page Layouts), etc. The main content area is divided into several sections: '追加の機能' (Additional Features), 'オブジェクトの分類' (Object Classification), 'リリース状況' (Release Status), and '検索状況' (Search Status). In the '追加の機能' section, the 'レポートを許可' (Allow Reports) checkbox is checked and highlighted with a red box. Other checked options include '活動を許可' (Allow Activities), 'Chatter グループ内で許可' (Allow in Chatter Groups), '共有を許可' (Allow Sharing), 'Bulk API アクセスを許可' (Allow Bulk API Access), and 'ストリーミング API アクセスを許可' (Allow Streaming API Access). The 'リリース状況' section shows 'リリース済み' (Released) selected. The '検索状況' section has '検索を許可' (Allow Search) unchecked. At the bottom right, the '保存' (Save) button is highlighted with a red box, along with '保存 & 新規' (Save & New) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. The record name is 'Composition Pattern Mas1' and the data type is 'テキスト' (Text).

3.3. ページレイアウトの項目配置変更

下記表のオブジェクトの項目変更に伴い、割り当て済みページレイアウトに対して項目配置と設定変更をします。

ご利用のページレイアウトが対象のページレイアウトと異なる場合は設定不要です。

カスタムLightningレコードページをご利用の場合はLightningレコードページにも追加対応が必要です。

Lightningレコードページ変更による追加項目の反映方法につきましては、システム管理者：UM工程進捗 ユーザーガイドの「Lightningレコードページの項目追加」を参照してください。

オブジェクト	ページレイアウト	変更内容	項目
生産計画	UMPROCESS_PrduoductionPlanLayout	追加	基準日(BasisDate)
製造オーダー	UMPROCESS_ProdOrderLayout	追加	基準日(BasisDate)
支給実績	UMPROCESS_SupplyActualResultLaayout	追加	オーダー単位(OrderUnit) ※オーダー数量の単位として配置されている既存の単位(Unit)は削除ください
リソースオーダー	UMPROCESS_ResourceOrderlayout	追加	単位製造数量(UnitProductionQuantity)
		追加	単位製造負荷値(UnitProductionLoadValue)
		追加	負荷値(LoadValue)
		追加	負荷値単位(LoadValueUnit)
品目マスタ	UMPROCESS_MaterialMasterLayout	追加	削除フラグ>DeleteFlg)
		追加	編集 ※モバイルおよび Lightning Experience のアクションにボタンを追加ください
構成ヘッダマスタ	UMPROCESS_CompositionPatternMasterLayout	追加	削除フラグ>DeleteFlg)
構成明細マスタ	UMPROCESS_CompositionMasterLayout	追加	有効開始日(EnableStartDate)
		追加	有効終了日(EnableEndDate)
		追加	削除フラグ>DeleteFlg)
工程手配明細マスタ	UMPROCESS_ProcessMasterLayout	追加	削除フラグ>DeleteFlg)

<手順> (例) 品目マスタ

- 1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。

設定 オブジェクトマネージャ

設定
オブジェクトマネージャ
2件の項目 (表示ラベル順)

品目マスタ スキーマビルダー 作成

表示ラベル	API 参照名	種別	説明	最終更新	リリース済み
品目マスタ	snps_um__Item_c	カスタムオブジェクト		2021/12/14	✓
客先品目マスタ	snps_um__CustomerItem_c	カスタムオブジェクト		2021/12/14	✓

- 2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、「ページレイアウト」ページの「ページレイアウトの割り当て」ボタンをクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ
品目マスタ

ページレイアウトの割り当て

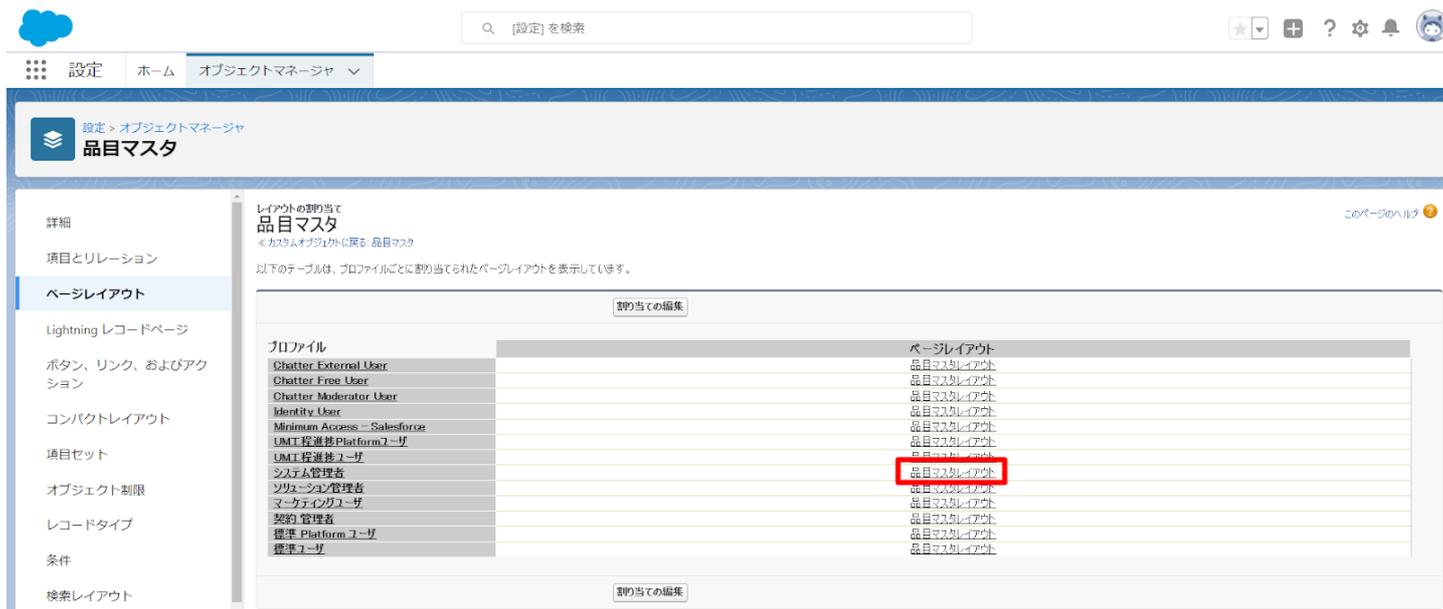
クイック検索 新規

ページレイアウト名	作成者	更新者
UMPROCESS_MaterialMasterLayout	工程進捗テスト 管理者ユーザ、2022/03/14 13:57	工程進捗テスト 管理者ユーザ、2022/03/14 13:57
品目マスタレイアウト	工程進捗テスト 管理者ユーザ、2022/03/14 13:30	工程進捗テスト 管理者ユーザ、2022/03/14 13:35

3) [レイアウトの割り当て] ページが表示されます。[ページレイアウト] 欄の対象のページレイアウトをクリックします。

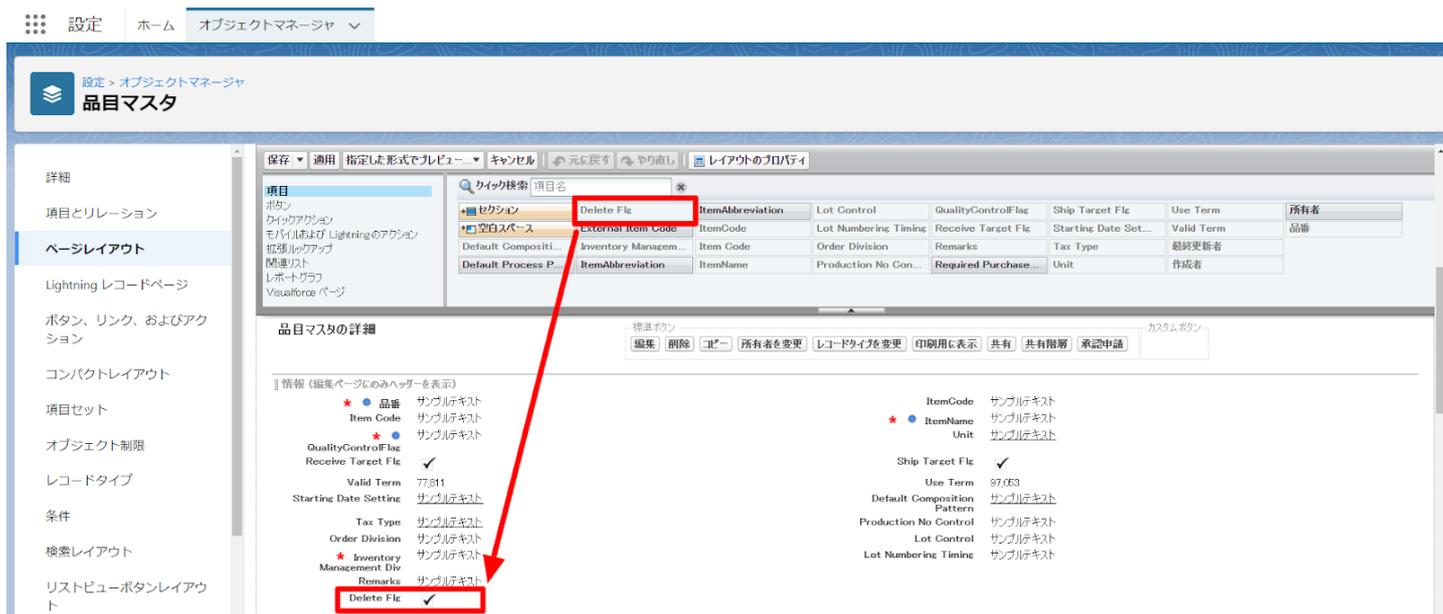
※ページレイアウトが複数ある場合はそれぞれ設定が必要です。

※ご利用のページレイアウトが対象のページレイアウトと異なる場合は設定不要です。



4) ページレイアウト個別のページが表示されます。追加する項目をドラッグ&ドロップで任意の場所に配置します。

※品目マスタの追加項目配置例



5) 「保存」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Item Master' (品目マスタ) configuration page. The 'Save' (保存) button is highlighted in red. The page displays a table of item properties and a list of values for various fields.

項目	Inventory Managem...	Item Code	Order Division	Ship Target Flc	Use Term	所有者
空白スペース	ItemAbbreviation	ItemName	QualityControlFlag	Starting Date Se	表示名: spps_umShipTargetFlc	品番
Default Compositi...	ItemAbbreviation	Lot Control	Receive Target Flc	Tax Type	種別: チェックボックス	
Default Process P...	ItemCode	Lot Numbering Timing	Remarks	Unit	作成者	

項目	値
Item Code	サンプルテキスト
ItemName	サンプルテキスト
ItemCode	サンプルテキスト
Lot Control	サンプルテキスト
Use Term	17,703
Default Process Pattern	サンプルテキスト
Default Composition Pattern	サンプルテキスト
Lot Numbering Timing	サンプルテキスト

3.4. ページレイアウトの関連リスト追加

下記表の参照関係が追加されたオブジェクトに対して、関連リストを追加します。

オブジェクト	ページレイアウト	関連リスト	表示項目 ※推奨
生産計画	UMPROCESS_PrdoctionPlanLayout	購買オーダー	※指定なし
製造オーダー	UMPROCESS_ProdOrderLayout	購買オーダー	※指定なし
作業オーダー	UMPROCESS_WorkOrderLayout	購買オーダー	※指定なし

<手順> (例) カレンダーヘッダマスタ

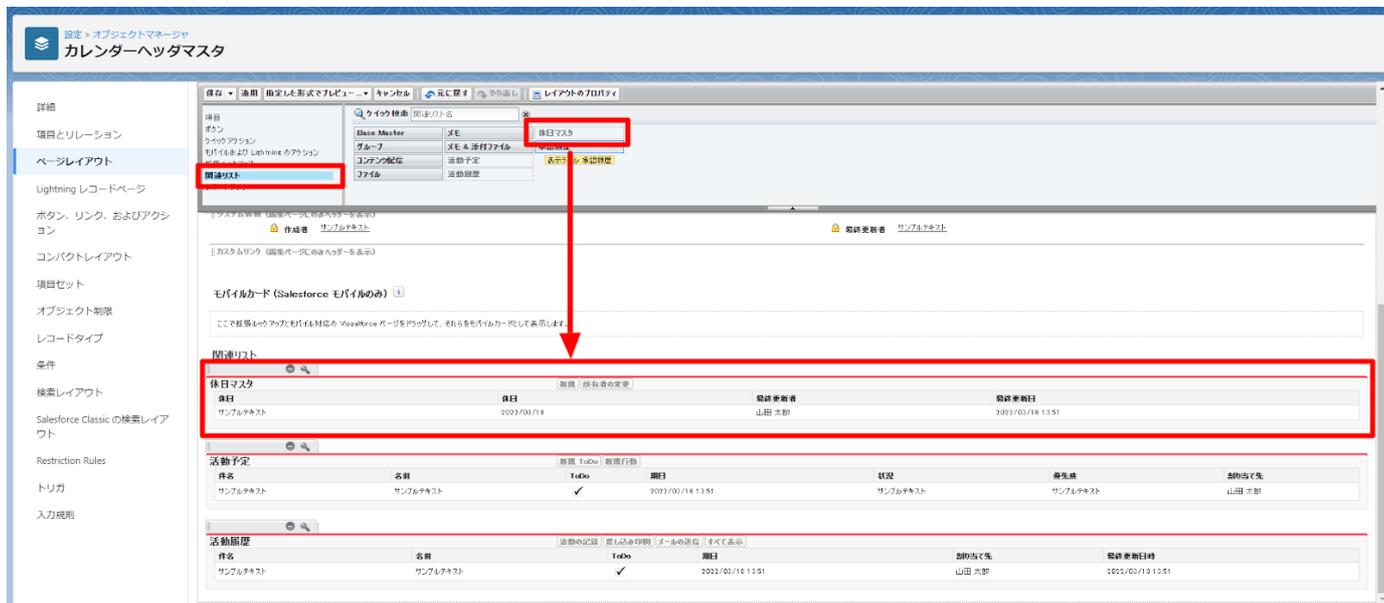
- 1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。



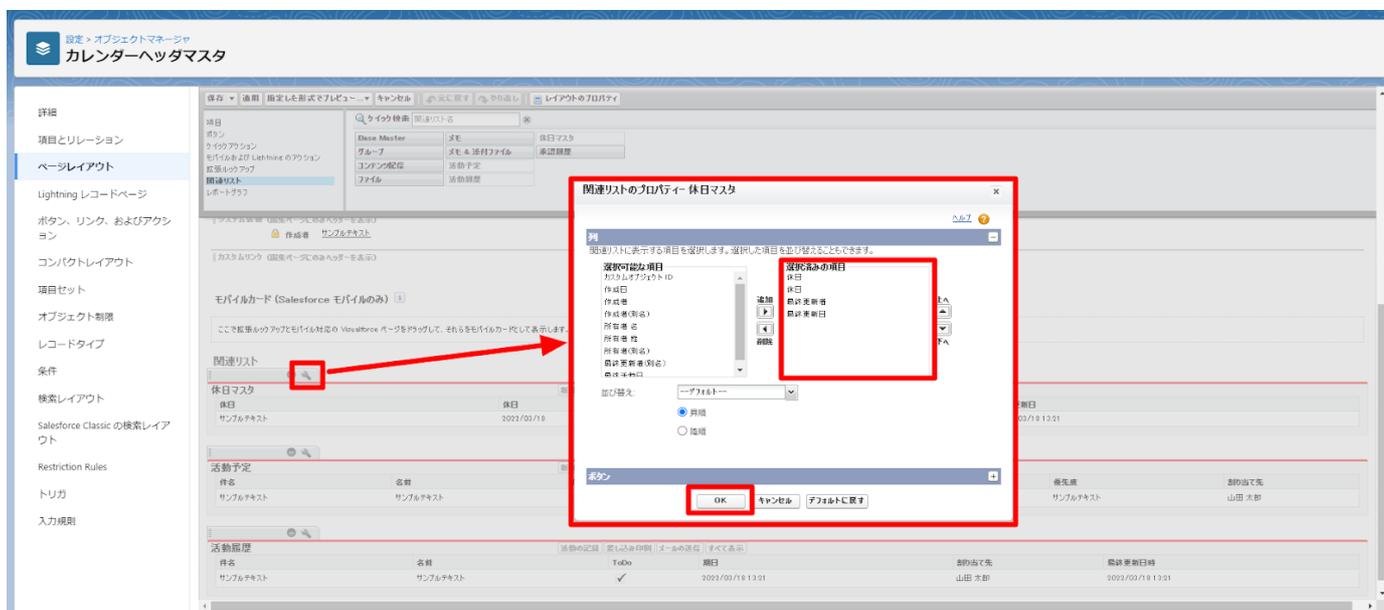
- 2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイアウト] ページの「ページレイアウト」から該当のページレイアウトを選択します。



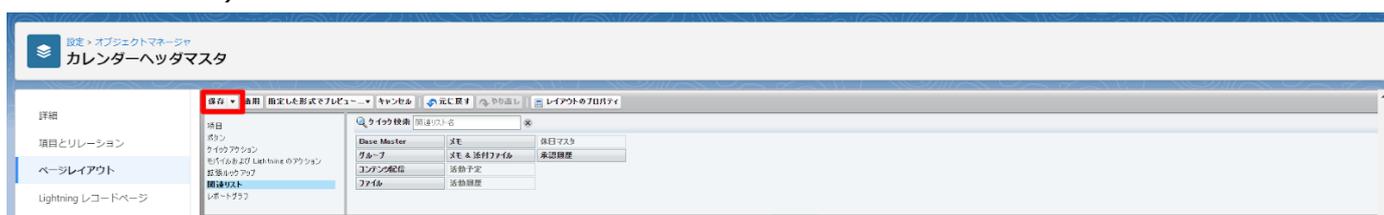
- 3) ページレイアウト個別のページが表示されます。関連リストをドラッグ&ドロップで関連リストセクション内の任意の場所に配置します。
※カレンダーヘッダマスタの関連リストへ休日マスタの配置例



- 4) 配置した関連リストの[関連リストのプロパティ]を開き、[選択済みの項目]に表示したい項目を並べ、「OK」ボタンをクリックします。
※配置する項目や並び順は任意です。



- 5) 「保存」ボタンをクリックします。



3.5. ページレイアウトの関連リストの新規ボタン設定変更

下記表に従い、割り当て済みページレイアウトに対して関連リストの設定を変更します。

オブジェクト	ページレイアウト	関連リスト	変更内容	項目
生産計画	UMPROCESS_PrductionPlan Layout	受注生産	標準ボタンの無効化	新規
			カスタムボタンの有効化	新規

<手順> (例) 生産計画

1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。

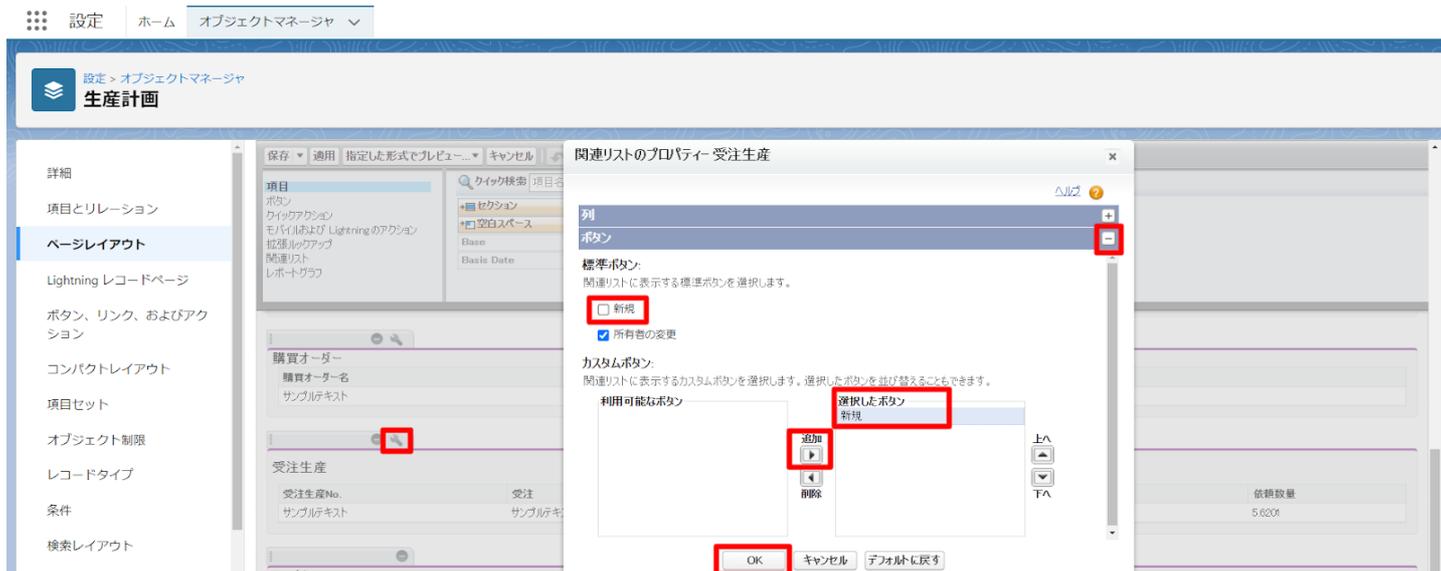
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります



2) 対象オブジェクトの詳細ページが表示されます。「ページレイアウト」をクリックし、[ページレイアウト] ページの「ページレイアウト」から該当のページレイアウトを選択します。



- 3) 該当の関連リストの[関連リストのプロパティ]を開き、[ボタン]セクションの「+」をクリックし、標準ボタンの「新規」フラグをOFFに表示したい項目を並べ、カスタムボタンの「新規」を[選択したボタン]へ移動し、「OK」ボタンをクリックします。



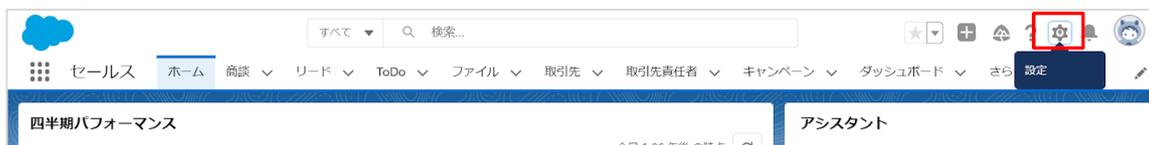
3.6. ボタンの設定変更

下記表のオブジェクトの新規ボタン、編集ボタンをクリックした際に開く画面を作成しました。ボタン、リンク、およびアクションにて設定を変更します。
各ボタンをクリックしたときに起動する画面を設定します。

オブジェクト	表示ラベル	アクション	ページ名称
作業オーダー	新規・編集	上書き	domainWorkOrderInputWrap
リソースオーダー	新規・編集	上書き	domainResourceOrderInputWrap
受注生産	新規・編集	上書き	domainBuiltToOrderInputWrap

<手順> (例) 入庫

1) 画面右上の歯車ボタン「設定」をクリック



2) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つけられます



3) ボタン、リンク、およびアクションをクリックし、該当のボタンの編集をクリック
 ※同じボタン名が2つある場合、内容のソースが「標準ページ」の方の編集をクリック
 (例) 入庫の新規ボタンの場合

下図に新規ボタンが2つ表示されているが、内容のソースが「URL」ではなく「標準ページ」である下の行の新規ボタンの▼をクリック

表示ラベル	名前	説明	種別	内容のソース	上書き
コピー	copyWarehouseIn		詳細ページボタン	URL	
コピー	Clone			標準ページ	
リスト	List			標準ページ	
入庫タブ	Tab			標準ページ	
削除	Delete			標準ページ	
参照	View			標準ページ	
引き受ける	Accept			標準ページ	
新規	WarehouseInRegistShipInP		リストボタン	URL	
新規	New			標準ページ	
編集	Edit			標準ページ	編集

4) Lightning Experienceの上書き、モバイルの上書きの設定を変更し、「保存」ボタンをクリックします。

このページのヘルプ

標準ボタンまたはリンクを上書きすると、ユーザーがそれをクリックしたときの動作が変更されます。たとえば、ユーザーが「表示」ボタンをクリックしたときに標準の Salesforce ページを表示するのではなく、カスタムコントロール、Visualforce ページ、Lightning エンジン、または Lightning ページを起動できます。

上書きは、同じアクションのプログラムによるカスタマイズにも適用されます。たとえば、レコード表示イベントを起動すると、ユーザーがそのレコードの「表示」をクリックしたときと同じ設定が使用されて、同じアクションが実行されます。Salesforce Classic、Lightning Experience、モバイルで異なる上書き動作を設定できます。

プロパティの上書き

保存 キャンセル

表示ラベル 新規
名前 New
デフォルト 標準ページ

Salesforce Classic の上書き
 上書きしない (デフォルトを使用)
 Visualforce ページ
 Lightning Experience

Lightning Experience の上書き
 Lightning Experience | snps_umiwarehouseInputWrap

モバイルの上書き
 Lightning Experience | snps_umiwarehouseInputWrap

コメント

保存 キャンセル

3.7. アクションの設定変更

下記表のオブジェクトのアクション設定を変更しました。
ボタン、リンク、およびアクションにて設定を変更します。
各ボタンをクリックしたときに起動する画面の項目の初期値を設定します。

オブジェクト	表示ラベル(名前)	編集/ 新規	定義済み項目値 項目名(API参照名)	数式の値
管理オーダー	管理実績作成 (WorkControllingResultForCheckBox)	編集	Resource (snps_um__ResourceItem_c)	snps_um__WorkControllingOrder_c.snps_um__ResourceItem_c
	管理実績作成(WorkControllingResultForNumber)	編集	Resource (snps_um__ResourceItem_c)	snps_um__WorkControllingOrder_c.snps_um__ResourceItem_c
	管理実績作成(WorkControllingResultForSelectList)	編集	Resource (snps_um__ResourceItem_c)	snps_um__WorkControllingOrder_c.snps_um__ResourceItem_c
	管理実績作成(WorkControllingResultForText)	新規	Resource (snps_um__ResourceItem_c)	snps_um__WorkControllingOrder_c.snps_um__ResourceItem_c

変更内容の手順を参考に設定します。

- ①定義済み項目値 編集時
- ②定義済み項目値 新規時

<①定義済み項目値 編集時手順>

(例) 管理オーダー

表示ラベル(名前) : 管理実績作成(WorkControllingResultForCheckBox)

項目名(API参照名) : Resource(snps_um__ResourceItem_c)

- 1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります。



2) ボタン、リンク、およびアクションボタンをクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ
管理オーダー

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

詳細

説明

API 参照名
snps_um_WorkControllingOrder_c

カスタム

表示ラベル(単数形)
管理オーダー

レポートで使用する
✓

活動の追跡
✓

項目権限管理

編集

3) 該当アクションをクリックします。

設定 > オブジェクトマネージャ
管理オーダー

詳細

項目とリレーション

ページレイアウト

Lightning レコードページ

ボタン、リンク、およびアクション

コンパクトレイアウト

項目セット

オブジェクト制限

レコードタイプ

条件

検索レイアウト

リストビューボタンレイアウト

Restriction Rules

トリガ

フロートリガ

入力規則

ボタン、リンク、およびアクション
12件の項目 (表示ラベル順)

クイック検索

新規アクション

新規ボタンまたはリンク

表示ラベル	名前	説明	種別	コンテンツソース	上書き
コピー	Clone			標準ページ	▼
リスト	List			標準ページ	▼
削除	Delete			標準ページ	▼
参照	View			標準ページ	▼
引き受ける	Accept			標準ページ	▼
新規	New			標準ページ	▼
管理オーダータブ	Tab			標準ページ	▼
管理実績作成	WorkControllingResultForCheckBox	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	▼
管理実績作成	WorkControllingResultForNumber	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	▼
管理実績作成	WorkControllingResultForSelectList	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	▼
管理実績作成	WorkControllingResultForText	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	▼
編集	Edit			標準ページ	▼

4) 該当項目の「編集」をクリックします。

The screenshot shows the 'Object Manager' interface. On the left is a navigation menu with options like '詳細' (Details), '項目とリレーション' (Items and Relations), etc. The main area displays a table titled '定義済み項目値' (Defined Item Values). The table has columns for 'アクション' (Action), '項目名' (Item Name), 'API 参照名' (API Reference Name), 'データ型' (Data Type), and '値' (Value). The 'Resource' row is highlighted with a red box.

アクション	項目名	API 参照名	データ型	値
編集 / 削除	Abnormal Handling	smps_um_AbnormalTreatmentLabel_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_AbnormalTreatmentLabel_c
編集 / 削除	Abnormal Handling (URL)	smps_um_AbnormalTreatment_c	URL	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_AbnormalTreatment_c
編集 / 削除	Aspect Control	smps_um_ControlingCharacteristic_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ControlingCharacteristic_c
編集 / 削除	Correct Value	smps_um_CorrectBool_c	チェックボックス	True
編集 / 削除	Cycle	smps_um_Cycle_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_Cycle_c
編集 / 削除	Department in Charge Result	smps_um_ActualResultDepartmentInCharge_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ScheduleDept_c
編集 / 削除	End Date Time	smps_um_EndDateTime_c	日付/時間	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_EndDateTime_c
編集 / 削除	Inventory Location	smps_um_StockPlace_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_StockPlace_c
編集 / 削除	Item	smps_um_Item_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_WorkOrder_c.smps_um_Item_c
編集 / 削除	Management Classification	smps_um_ManagementDiv_c	選択リスト	TEXT(smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ManagementDiv_c)
編集 / 削除	Method	smps_um_Technique_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_Technique_c
編集 / 削除	PID Actual Result	smps_um_ActualResultPersonInCharge_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ScheduleUser_c
編集 / 削除	Process Control No.	smps_um_ProcessControl_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ProcessControl_c
編集 / 削除	Record Label	smps_um_RecordLabel_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_RecordLabel_c
編集 / 削除	Record (URL)	smps_um_Record_c	URL	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_Record_c
編集 / 削除	Resource	smps_um_Resource_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_Resource_c
編集 / 削除	Resource	smps_um_ResourceItem_c	参照関係	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ProcessControl_c.smps_um_DefaultResource_c
編集 / 削除	Standard Control	smps_um_ControlingCriteria_c	テキスト	smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ProcessControl_c.smps_um_ControlingCriteria_c

5) 「数式の値」に値を入力し、保存ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Edit Definition Item Value' form. The '項目の認定情報' (Item Certification Information) section shows the item name 'Resource' and data type '参照関係' (Reference). The '新規項目値の指定' (Specify New Item Value) section has a '数式の値' (Formula Value) field containing the formula: `smps_um_WorkControllingOrder_c.smps_um_ResourceItem_c`. This field is highlighted with a red box. Below the field is a '保存' (Save) button, also highlighted with a red box.

<②定義済み項目値 新規時>

(例) 管理オーダー

表示ラベル(名前) : 管理実績作成(WorkControllingResultForText)

項目名(API参照名) : Resource(snps_um_ResourceItem_c)

- 1) 設定メニューより、オブジェクトマネージャ > 対象のオブジェクトをクリックします。
※ クイック検索 ボックスに対象のオブジェクトを入力すると簡単に見つかります

- 2) ボタン、リンク、およびアクションボタンをクリックします。

- 3) 該当アクションをクリックします。

表示ラベル	名前	説明	種別	コンテンツソース	上書き
コピー	Clone			標準ページ	
リスト	List			標準ページ	
削除	Delete			標準ページ	
参照	View			標準ページ	
引き受ける	Accept			標準ページ	
新規	New			標準ページ	
管理オーダータブ	Tab			標準ページ	
管理実績作成	WorkControllingResultForCheckBox	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	
管理実績作成	WorkControllingResultForNumber	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	
管理実績作成	WorkControllingResultForSelectList	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	
管理実績作成	WorkControllingResultForText	レコードを作成		アクションレイアウトエディタ	
編集	Edit			標準ページ	

4) 「定義済み項目値」の「新規」ボタンをクリックします。

管理オーダー アクション
管理実績作成 (管理)

このアクションは管理されています。つまり、編集できるのは特定の属性のみです。詳細情報の表示

定義済み項目値 [1/1]

アクションの詳細

表示ラベル	管理実績作成	オブジェクト名	管理オーダー
標準の表示ラベル格別		アクション格別	レコードを作成
名前	WorkControllingResultForText	リレーション項目	Work Controlling Order
名前空間プレフィックス	snps.um	アイコン	
返期			
対象オブジェクト	管理実績		
レコードタイプ	Text		
フィールド項目を作成	✓		
成功メッセージ			
作成者	User User, 2022/06/24 13:11	更新者	User User, 2022/06/27 17:23

定義済み項目値

アクション	項目名	API 参照名	データ型	値
	Abnormal Handlnz	snps.um.AbnormalTreatmentLabel.c	テキスト	snps.um.WorkControllingOrder.c:snps.um.AbnormalTreatmentLabel.c

5) 「項目名」を選択し、「数式の値」に値を入力し、保存ボタンをクリックします。

管理実績作成 の新規の定義済み項目値

定義済み項目値の編集

項目の設定情報

対象オブジェクト: 管理実績

項目名: Resource

データ型: 参照関係

新規項目値の指定

数式の値: snps.um__WorkControllingOrder__c.ProcessControl_r.DefaultResource_c

保存

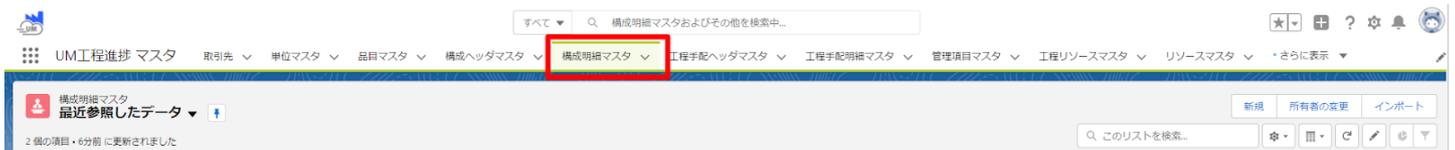
3.8. リストビューの変更

下記表のオブジェクト名の変更、項目の廃止に伴い、リストビューの名称変更と表示項目から廃止項目を削除します。

アプリケーション	オブジェクト	リストビュー	表示項目 ※任意
UM工程進捗マスタ	構成明細マスタ	構成明細マスター一覧	構成No. 親品目 原単位分母数 原単位分母単位 子品目 投入量 投入量単位 投入順序 副産物フラグ 連産品フラグ

<手順> (例) 構成マスター一覧の名称変更と表示項目変更

1) 「対象のアプリケーション」から「対象のオブジェクト」タブをクリックします。



2) リストビュー名横の「▼」から「対象のリストビュー」をクリックします。



3) リストビュー名の変更が必要な場合は、「リストビューコントロール」から「名前を変更」をクリックします。名前の変更が必要ない場合は、<手順> 5へ進みます。



4) リスト名を「構成明細マスター一覧」に変更し「保存」ボタンをクリックします。



5) 「リストビューコントロール」から「表示する項目を選択」をクリックします。



6) 参照可能項目に任意の項目を並べ、「保存」ボタンをクリックします。



3.9. スキーマアップグレード設定資料の設定

スキーマアップグレード設定資料にも同様に設定の記載があります。

「スキーマアップグレード設定資料 ver.1.24.0」を参考に、設定を行ってください。